

第214号

まちのくすりやさん

今回のおはなし



「オーバードーズ」



「オーバードーズ配布カード」



市販薬の過剰摂取 オーバードーズ

市販薬を過剰摂取するオーバードーズ（OD）が原因と疑われる救急搬送者数が若年層を中心に増えています。ODは一時的な高揚感を得られることもあるとされますが、意識障害などの健康被害や、最悪の場合は、死亡する恐れもある危険な行為です。

「薬をいっぱい飲めば、嫌なことを考えなくて済むって思った」小学6年の女兒（12歳）は、ODを繰り返していました。級友との関わり方や自分の性格に思い悩むうち、学校を休みがちになり、居場所になったのが、インターネット上で複数の人がメッセージをやりとりするチャットの間でした。ある日、チャット上の「友達」の一人が「こういうことすると気分が晴れるよ」と投稿しました。ODの経験者でした。使用する薬の名前などを教えられ、自宅にあった解熱鎮痛剤を大量に飲みました。吐き気と頭痛がありました。が、「当時はそれが快感だった」。親に見つからないよう小遣いで同じ薬を購入し、1か月ほどの間に繰り返し口にしました。「全てが嫌だった」ある日50錠を一度に摂取しました。猛烈な吐き気に襲われ、数時間にわたり嘔吐しました。異常に思った母親が救急車を呼びましたが、母親にも搬送先の病院にもODのことは隠しました。数日後、部屋に置いていたポーチの中から大量の薬の殻を見つけた母に問いただされ、行為を認めました。精神科に通い始め、友達との関わり方などで気持ちが変わっていき、現在はODをすることはなくなったそうです。

乱用の対象となっている市販薬の例

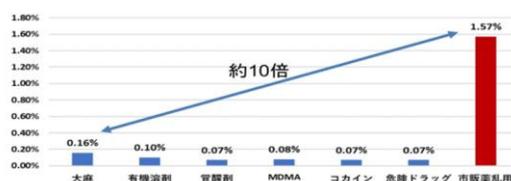
1. 鎮咳去痰薬（咳止め）
2. 総合感冒薬（風邪薬）
3. 解熱鎮痛薬（痛み止め）
4. 鎮静薬
5. 抗アレルギー薬
6. 眠気防止薬（カフェイン製剤）



いずれも処方箋は不要。薬剤師による対面販売は必須ではなく、インターネットの購入も可能。

高校生における市販薬乱用の経験率（過去1年間） 大麻の使用率の約10倍

（大麻0.16%、市販薬乱用1.57%、いずれも推計値）



全国の高校生における違法薬物および市販薬乱用の経験率（過去1年間）

11 131
薬物使用と生活に関する全国高校生調査2021（国立精神・神経医療研究センター）

「1人で悩まないで」

何かあったら、ぜひ薬剤師に相談して下さい。

※薬局では、相談できる関係機関の案内カード（裏ページ参照）を置いてあります。

ご自由にお取り下さい。

■ オーバードーズ当事者向け：2種類

■ ② 親・身近な大人向け：1種類

■ シオノギヘルスケア 社外ホームページ

濫用者に向けた正しいケアの発信と、そのケアを提供できる専門機関・窓口との接点づくりを実施。
「メジコンせき止め錠」の製品パッケージ底面(内)添付文書裏面のQRコードから適切な専門機関・窓口へつながる場を用意。

■ 製品パッケージ

■ シオノギヘルスケア 社外ホームページ

■ 添付文書

(一社) 浦安市薬剤師会

〒279-0004 浦安市猫実1-2-5 健康センター内

Tel 047-355-6812 (月～金：10～15時)

Fax 047-355-6810

メールアドレス yaku_ura_t@urayaku.jp

ホームページ https://www.urayaku.jp/